

さざなみ



社会福祉法人親和会
さざなみ学園
Tel (0853) 43-2252
Fax (0853) 43-2256
e-mail: sazanami@rhythm.ocn.ne.jp

園長より

春になり、穏やかで暖かな風が吹くことが多くなりました。季節は、変わっても、コロナ禍は終わりが見えません。

コロナ禍も3年経つと、検温や健康観察等の「持ち込まない対策」と、マスク着用・ソーシャルディスタンス・換気・消毒等の「感染を拡げないような生活」は継続しつつ、いかに上手く付き合い、今を楽しむかというウイズコロナに変わってきたように思います。

子どもたちの生活も、全体で行う行事や活動は難しいですが、希望をできる限り聞き、少人数での活動を増やしています。楽しめる活動ができるようになり、子どもたちの笑顔も増えました。また、職員も子どもたちへの関りが密になったことで、一人ひとりの新たな一面を見ることができました。

話は少し変わりますが、人には有害な物から身体を守るために免疫という仕組みがあり、体内に入った細菌やウイルスを見つけ、排除する働きを持つ免疫細胞というものがあるそうです。免疫細胞の1つが増えたり、活性化したりすると免疫力が上がるということが分かっており、その方法が「笑い」だそうです。

免疫力を向上させることができる「笑い」は、「作り笑い」でも感情的に脳が笑っていると錯覚し、心から笑った時と効果は変わらないそうです。これからの生活の中でマスクの下で口角を上げて笑うことで、免疫力も上がり、コロナ禍を吹き飛ばしてくれるかもしれません。そうすることで、子どもたちの「笑い」も増え、楽しく生活できるようにしていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の対策として、9月以降に入所児童の居室改修工事(多床室の個室化)を予定しております。工事車両の出入りや騒音等もあるかと思われませんが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

【さざなみ学園 園長 片岡久】



魚釣り

学園では魚釣りがブームで、ここ近年出掛けています。これまで近場の海でキス・アジ・コチを釣り、昨年は目田森林公園で釣り堀を体験しました。そして今回は今が旬のアオリイカを狙うことにしました。

今年のゴールデンウィークは風が強く雨も続いていたので心配しましたが、当日は子ども達の願いが届き、風もなく絶好の釣り日和となりました。イカ釣りは魚とは違い疑似餌のアクションが大切になってきます。スタッフから誘い方を聞いた後、いざ実釣！

個々にキャストしては餌木をしゃくりイカを誘いますが反応なし…。30分後「キター」と声が聞こえました。急いで駆け付けると立派な海藻が釣れました（笑）イカを釣ることはできませんでしたが楽しい時間を過ごすことができました。

【主任支援スタッフ 土江真司】



ん〜。
難しいなあ



美味しい！楽しい！GW！

天気のいい日は、密にならないように気を付けながらマスクを着用し皆でグラウンドや中庭で、キャッチボールをしたりピーピー豆を鳴らしたりして楽しみました。久しぶりに1G、2Gの児童が一緒になって遊び、子どもたちも笑顔で楽しそうに遊んでいましたよ。また子どもたち同士での交流で、親切に野球を教えてあげる姿や友だちと一緒に大ききなピーピーを探す姿…。子どもたちの優しさや可愛らしさに、スタッフもとても暖かな気持ちになりました。

また、おやつクッキングも行い、自分たちで作ったおやつを遊び終わった後に中庭で食べました。自分たちで作ったおやつのは格別だったようです♪美味しく、楽しい連休を過ごしました！

【支援スタッフ 青木翔也】



上手に
作れたよ♡



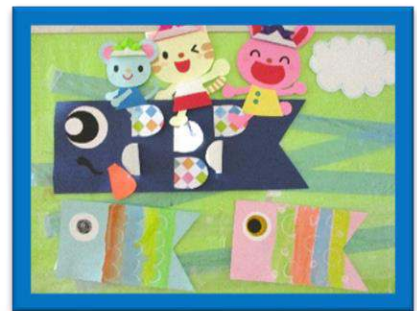
GW 最高〜♪♪



ふれあい教室

4月はコロナの影響の為、中止になり5月より新年度のふれあい教室がスタートしました。新しい学年に進級し、ひとつおにいさんやおねえさんになった子どもたち！「おはよう」と元気いっぱいのかわいい笑顔を見せてくれました。5月の活動では砂場あそびやサーキット遊び、こいのぼり製作をしました。砂場あそびでは「やった～うれしい」と思い切りはしゃぐ子どもたち。砂や水の感触に触れながら「お味噌汁つくったよ。次はプリンとラーメンつくるよ」とイメージをしながらごちそうづくりをしました♪自分のつくったごちそうをお母さんに食べてもらうやりとりではとても満足そうな顔の子どもたちでした。次にこいのぼり製作では、はじき絵をしました。お家の方に「素敵なこいのぼりができたね」と褒められると嬉しそうに満面の笑みをみせてくれる子どもたち。認めてもらえる、褒めてもらえるという嬉しさは次も「がんばってみよう」という力につながっていくと思います☆今年度もいろいろな遊びを通して、子どもたちのわくわくする気持ちや「たのしい！もっとやってみたい」などの気持ちを引き出していけたらと思います。そして、親子でのふれあいの場を大切にしたい笑顔いっぱいの教室にしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【療育スタッフ 本山紗裕美】



児童発達支援・放課後等デイサービス



ぽこぽこ

“ものづくり”をすることは、人にしかできない力です。作る過程に癒され、作り終えた時の気持ちに満たされるものがありますね。

ぽこぽこの子どもたちは、達成感や満足感を味わい、試行錯誤する力を積み重ねています。活動を通して子どもたちの力と笑顔を引き出し、今年度も支援していきたいと思ひます。

【療育スタッフ（OT） 荒木裕子】



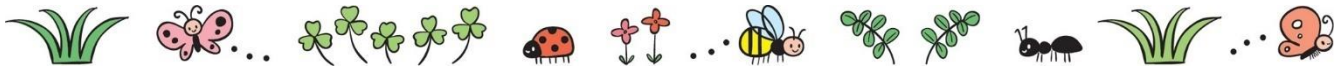
！さんがカメラマンになりました！



← Sさん作品



折り紙を切ったり貼ったり、模様にしったり、指先と目と感性を使って、製作活動を楽しみました♪



お知らせ・寄贈

◆放課後等デイサービス保護者の方より下駄箱をいただきました！



◆（有）ダスカジャパンクアウテモック様よりチョコレートをいただきました！



編集後記

一緒に過ごした友だちを送り出し、新しい友だちを迎え入れ新年度がスタートしました。新しいことに向かう時にはワクワクしたり不安な気持ちがあったりするものです。いろいろな気持ちを受け止め、明日への力になるように私たちも笑顔で寄り添っていかれたらと思います。コロナ禍であり、行事も規模を縮小したり変更したりしながらですが楽しい計画を子どもたちと一緒に考えながら過ごせる一年になればと思います。記事に関しての要望などありましたらお知らせください。

【広報委員：日野、布野、宮廻、清水】

ことしもよろしく
おねがいします



※掲載しました氏名・写真につきましては、本人・家族に承諾を得ています。